Creative Enzymes®

ネイティブポーシンNADase

Cat. No. NATE-0472

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、NAD+ヌクレオシダーゼ（EC 3.2.2.5）は、次の化学反□を触媒する酵素です：NAD+ + H2O↔ ADP-リボース + ニコチンアミド。したがって、この酵素の二つの基質はNAD+とH2Oであり、二つの生成物はADP-リボースとニコチンアミドです。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にN-グリコシル化合物を加水分解するグリコシラーゼに分類されます。この酵素はニコチン酸およびニコチンアミドの代謝とカルシウムシグナル伝達□路に関与しています。
用途	豚の脳からのNADaseは、触媒的ADP-リボシル化から生じるヒスチジンおよび関連化合物を調□する研究に使用されました。また、光親和性ラベリングのためのアリルアジド置換ピリジンアデニン二核酸塩の調製を調□する研究にも使用されました。
別名	NADグリコヒドロラーゼ; ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドグリコヒドロラーゼ; β-NAD+グリコヒドロラーゼ; DPNase（あいまい）; NADヒドロラーゼ（あいまい）; 二リン酸ピリジンヌクレオシダーゼ（あいまい）; ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドヌクレオシダーゼ（あいまい）; NADヌクレオシダーゼ（あいまい）; DPNヒドロラーゼ（あいまい）; NADase（あいまい）; nga（遺伝子名）; EC 3.2.2.5; 9032-65-9

製品情報

種	豚の
由来	豚の脳
形態	アセトン乾燥粉末
EC番号	EC 3.2.2.5
CAS登□番号	9032-65-9
活性	> 0.007 単位/mg 固体
緩衝液	不溶性
単位定義	1ユニットは、pH 7.3、37°Cで1分あたり1.0 μmoleのβ-NADをニコチンアミドとADP-リボースに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C